

2023年度
(令和5年度)

紋別市における景気動向調査

<第3四半期>

報 告 書

紋別商工会議所

目 次

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 回収状況	1

II. 概 況

1. 全体の動き	2
(1) 今期の業況	2
(2) 部会別の動向	3
2. 今期の動向	
(1) 今期の売上高・生産高	7
(2) 今期の採算	8
(3) 今期の資金繰り	9
(4) 今期の在庫水準	10
(5) 今期の借入金の金利水準	10
(6) 設備投資の実施状況	11
3. 来期の見通し	
(1) 来期の業況見通し	11
(2) 来期の売上高・生産高見通し	12
(3) 来期の資金繰り見通し	12

III. 各 指 標

1. 各指標	13
--------	----

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2024年1月11日
- (2) 調査対象期間 2023年10月～12月期の実績および2024年1月～3月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス業+諸業部会より各30社、計150社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回答率
商業+食品業部会	30社	13社	43.3%
水産業部会	30社	17社	56.7%
機械工業部会	30社	15社	50.0%
建設業部会	30社	18社	60.0%
観光・サービス業+諸業部会	30社	17社	56.7%
合計	150社	80件	53.3%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－前年同期とほぼ横ばい。次期は大幅に悪化の見通し－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(2023(令和5)年10月～12月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比で▲12.5と0.4ポイント僅かに回復**となりました。

部会別に前年同期比ベースをみると、商業・食品業 [前年 DI 値▲40.0→**今期▲7.7**]、水産業 [前年 DI 値▲7.7→**今期▲17.7**]、機械工業 [前年 DI 値▲6.7→**今期▲33.3**]、建設業 [前年 DI 値9.1→**今期▲5.6**]、観光・サービス・諸業 [前年 DI 値▲25.0→**今期▲0.0**] となりました。

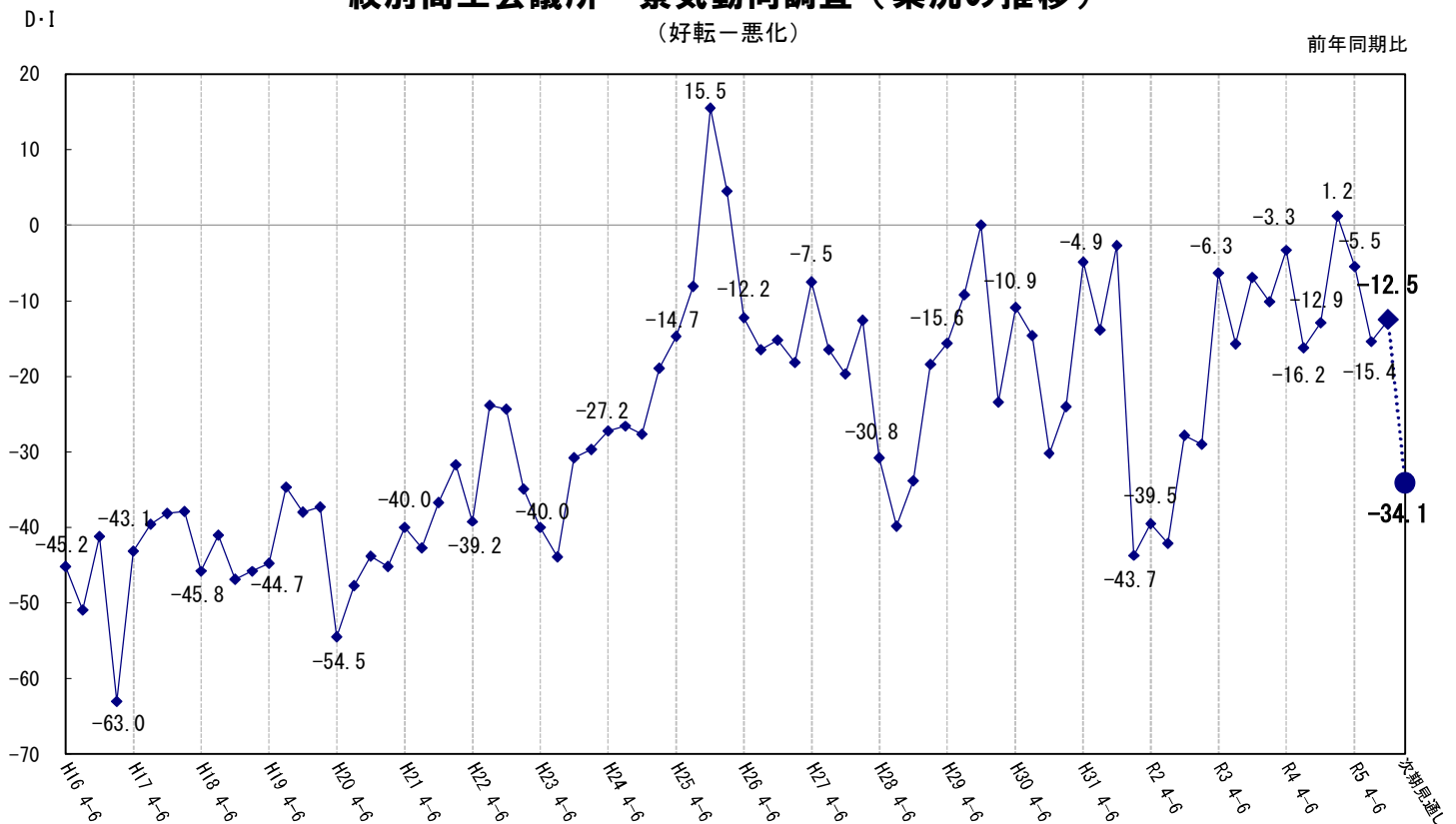
今回の調査では、**商業・食品業、観光・サービス・諸業で「回復」し、その他業種は「悪化」**となりました。昨年度に続き、今年度も全市民に配布された「紋別市消費拡大クーポン券(1人につき1万円分)」は、業種等による利用制限を設けなかったことから、食料品や日用品への利用が多く見られました。また、前年同期となる2022年12月23日には暴風雪によって発生した大規模停電の影響により、予約のキャンセルや食材の廃棄等、多くの損害が生じたことによる業況の大幅な悪化を招いたため、今回はその反動で業況が回復したものと考えられます。

次期(2024年1月～3月)の見通しについては、**業況判断DIが▲34.1と再び大幅に悪化する**との予測となっています。

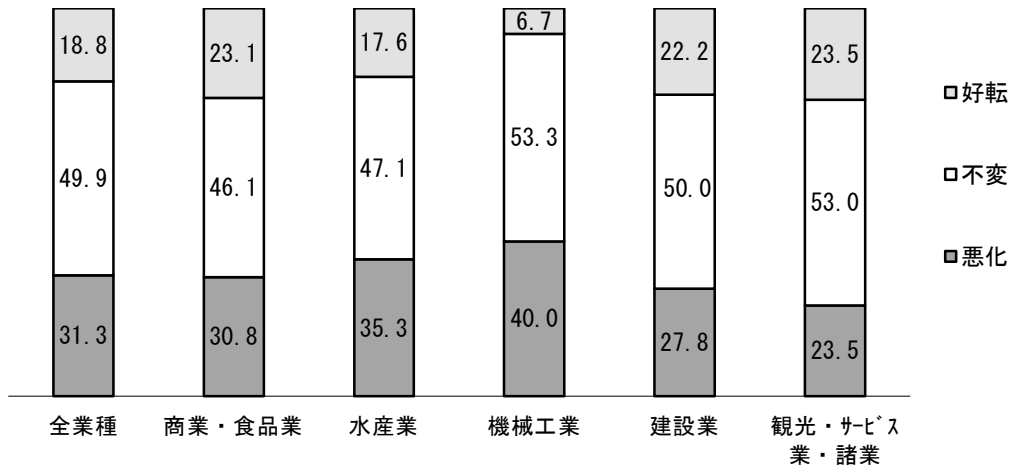
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



全業種の経営上の問題点としては、「原材料・材料単価の上昇」、「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

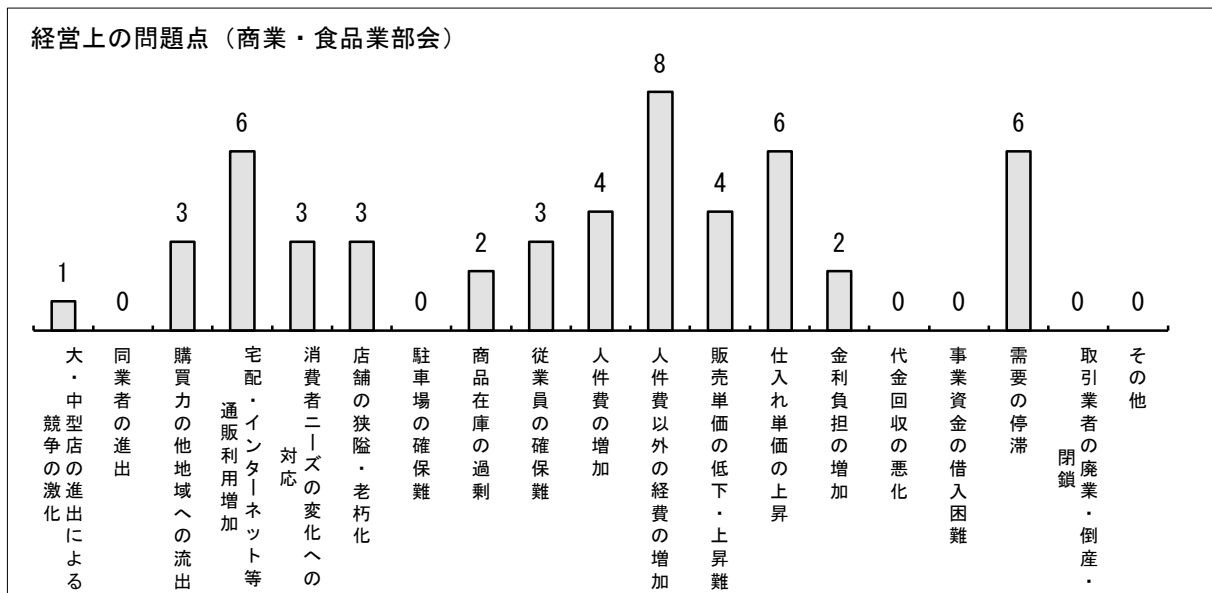
■部会別の動向

【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲7.7（前年DI値▲40.0、来期見直し▲38.5）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期と比べ32.3ポイントの大幅な回復となりました。全期は2022年末に発生した大規模停電の影響により、休業や在庫の廃棄が生じるなど、多大な損害が生じたとの声が寄せられていました。今期も燃料価格や物価高騰により消費減退が危惧されていますが、昨年度に引き続き、紋別市が全市民に配布した「紋別市消費拡大クーポン券」の効果もあり、業況が回復した事が窺えます。しかしながら、来期は、再び大幅な悪化するとの回答が多くなっています。経営上の問題点としては「仕入単価の上昇」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・労働時間、休日出勤での資金UPの増加が問題点（燃料販売）
- ・各地域の同業者の廃業などにより、運送便が減少し商品物流が悪くなっている（家具小売）
- ・迅速な除排雪が冬期の客足に直結する。市内の大きな経済循環を良化させる為にも迅速な対応を求めます。（食料品等小売）

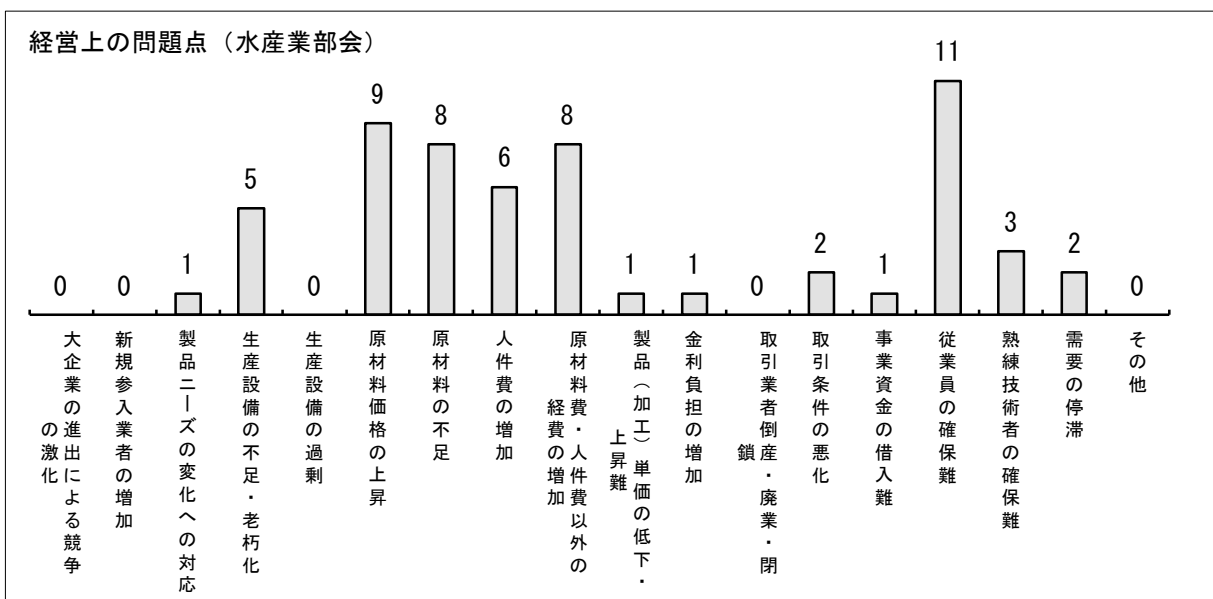


【水産業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲17.7（前年DI値▲7.7、来期見通し▲62.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は10ポイントの悪化となりました。2023年8月に「ALPS処理水」が海洋放出されたことにより、日本産水産物の中国向け輸出が制限され、多くの水産加工場で在庫を抱え、新たな販売先の確保や加工作業が増加し苦慮する中、人手不足が更に深刻化しています。次期の見通しは▲62.5と更に44.8ポイントの大幅な悪化を示しています。これまでふるさと納税の納税額が全国一位になるなど、返礼品として水産品の需要は高まっていますが、ふるさと納税の制度改正に加え、1月1日に発生した能登半島沖地震の「被災地支援」としてふるさと納税が活用され、大幅に減少しているとの声も寄せられています。経営上の問題点としては「従業員の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・価格転嫁出来できないなか、原材料費、人件費、その他経費の上昇が利益を圧迫しています。（水産品卸売）
- ・ALPS処理水放出による影響大（水産加工）

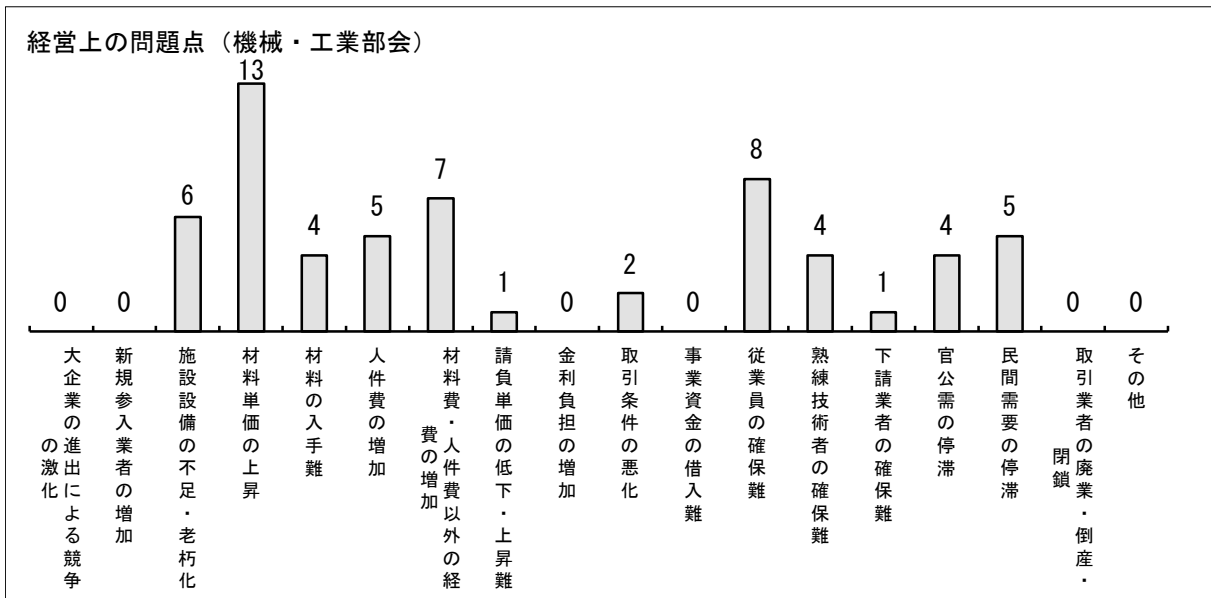


【機械工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲33.3（前年DI値▲6.7、来期見通し▲40.0）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、26.6ポイントの大幅な悪化となりました。2022年の大規模停電により発電機など災害時に活躍する製品の受注が増加したとの声が寄せられましたが、今期は材料や仕入の価格の高止まり、円安による輸入コストの増加に加え、燃料価格や輸送費等の高騰により、利益率の悪化が懸念されています。次期業況見通しは▲40.0と更に悪化する見通しで、経営上の問題点としては「材料単価の上昇」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・インボイスの登録事業者になるか否かの選択で悩んでいます。営業の8割方個人消費ですので免税を選択しておりますが、特に建築関係の請求書等には消費税をつけられないとの事。課税事業者としてインボイスの登録事業者を選択して申告した方が良いのか？インボイス制度前に請求書・領収書5冊ずつ印刷済みで困っています（室内装飾製造）
- ・趣向品製造業のため売上の上下が多い（石材・ガラス彫刻）

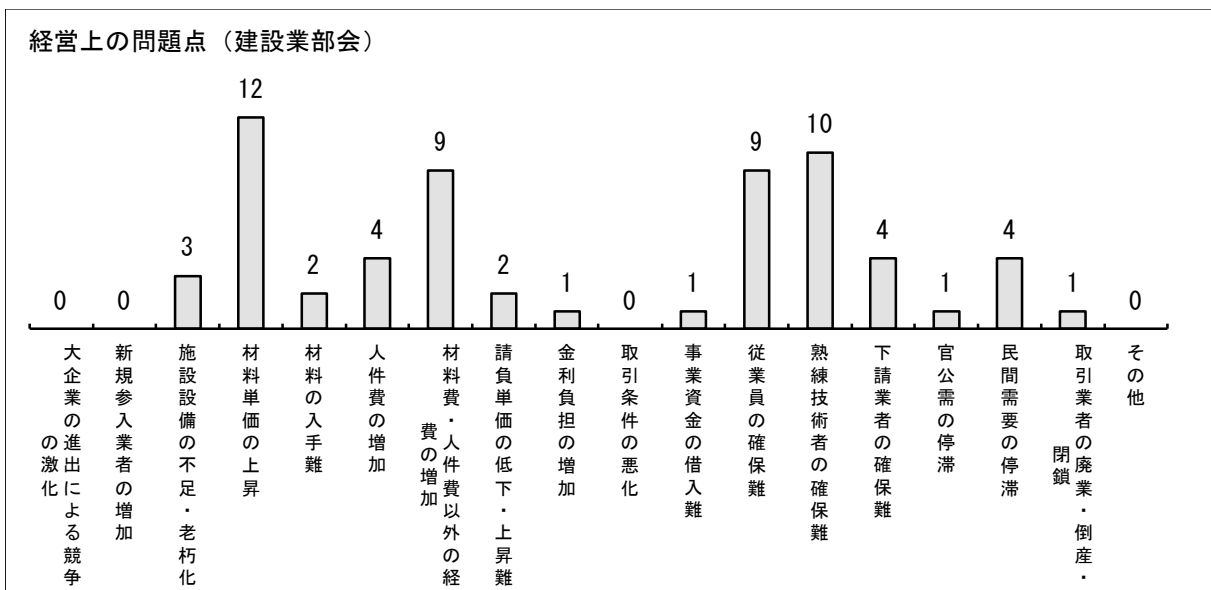


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲5.6（前年DI値9.1、来期見通し▲33.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は14.7ポイントの悪化となりました。市内では消防新庁舎の建設が進行中であることに加え、市役所新庁舎の建設も今後控えていることから、公共工事は順調に進むものと思われます。一方で、業務の発注はあるものの、円安の影響による材料単価の上昇に加え、技術者等の高齢化・人手不足が顕著となり、作業が滞っているとの声も寄せられています。次期はDI値が▲33.3と再び大幅な悪化の見通しとなっており、雪不足による冬期間の収入確保を懸念する声も寄せられています。経営上の問題点としては「材料単価の上昇」「熟練技術者の確保難」を訴える声が多くなっています。

《業界の問題点等》

- ・市との除雪契約が時間単価である為、雪が降らなければ収入が無くなってしまう。（土木工事）
- ・少数数の会社は、週休二日制度がなかなか業界的に整わない事。そのため従業員の確保が難しい。（管工事業）
- ・どの業種も人手不足、従業員の確保が問題（土木工事）



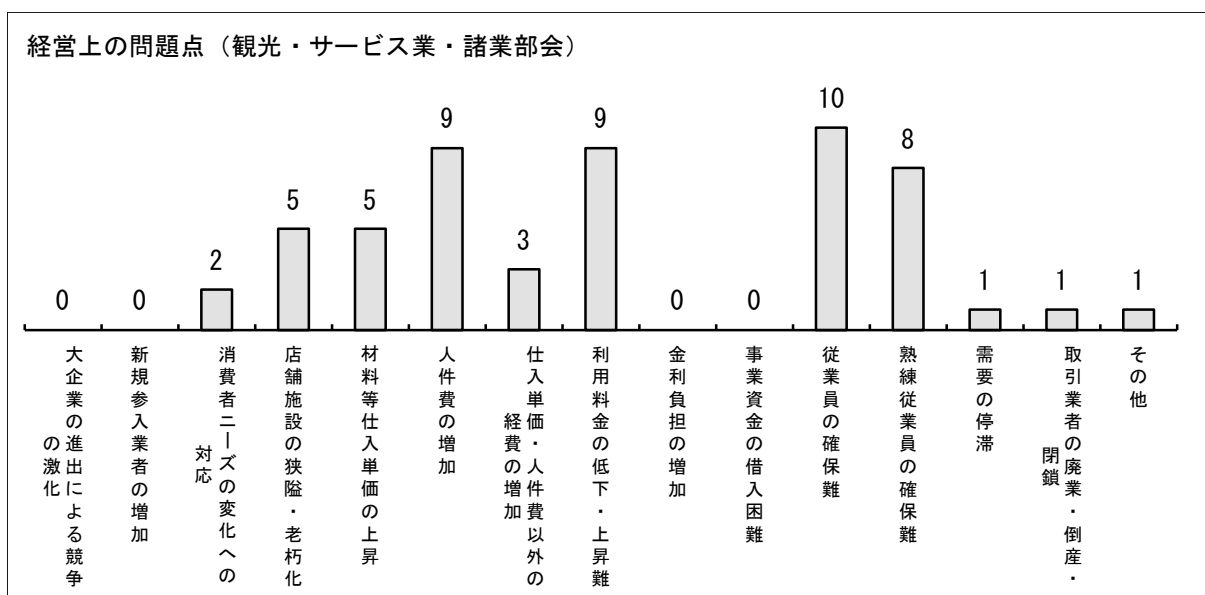
【観光・サービス業・諸業部会】 〔業況判断DI値（前年同期比）0.0

（前年DI値▲25.0、来期見通し▲0.0）

業況判断DI値（前年同期比）は25.0ポイント回復しました。前年同期は2022年の年末に発生した停電により、既に入っていた宴会やオードブルの予約キャンセル、生鮮食品や冷凍製品の廃棄等の損害で業況が悪化しました。その後、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことによる人流の増加、諸会合が少しずつ復活していることにより、業況が回復したことが窺えます。来期はDI値0.0と今期と同ポイントの見通しとなっています。経営上の問題点としては、従業員の高齢化に伴う「従業員の確保難」「人件費の増加」「利用料金の低下・上昇難」を訴えるが多くなっております。

《業界の問題点等》

- ・物価上昇を価格に転換できず利益率が低下している。経営の改善に苦慮している（飲食業）
- ・人材不足これに尽きる。現在の労働力もいつまで保証されるものか？人が辞めれば今後の仕事が出来なくなる恐れあり（飲食業）
- ・材料価格の上昇、電気・灯油の上昇が異常です（飲食業）
- ・人員確保（旅客運送業）
- ・燃料代高騰、諸経費高騰、人材確保難（旅客運送業）



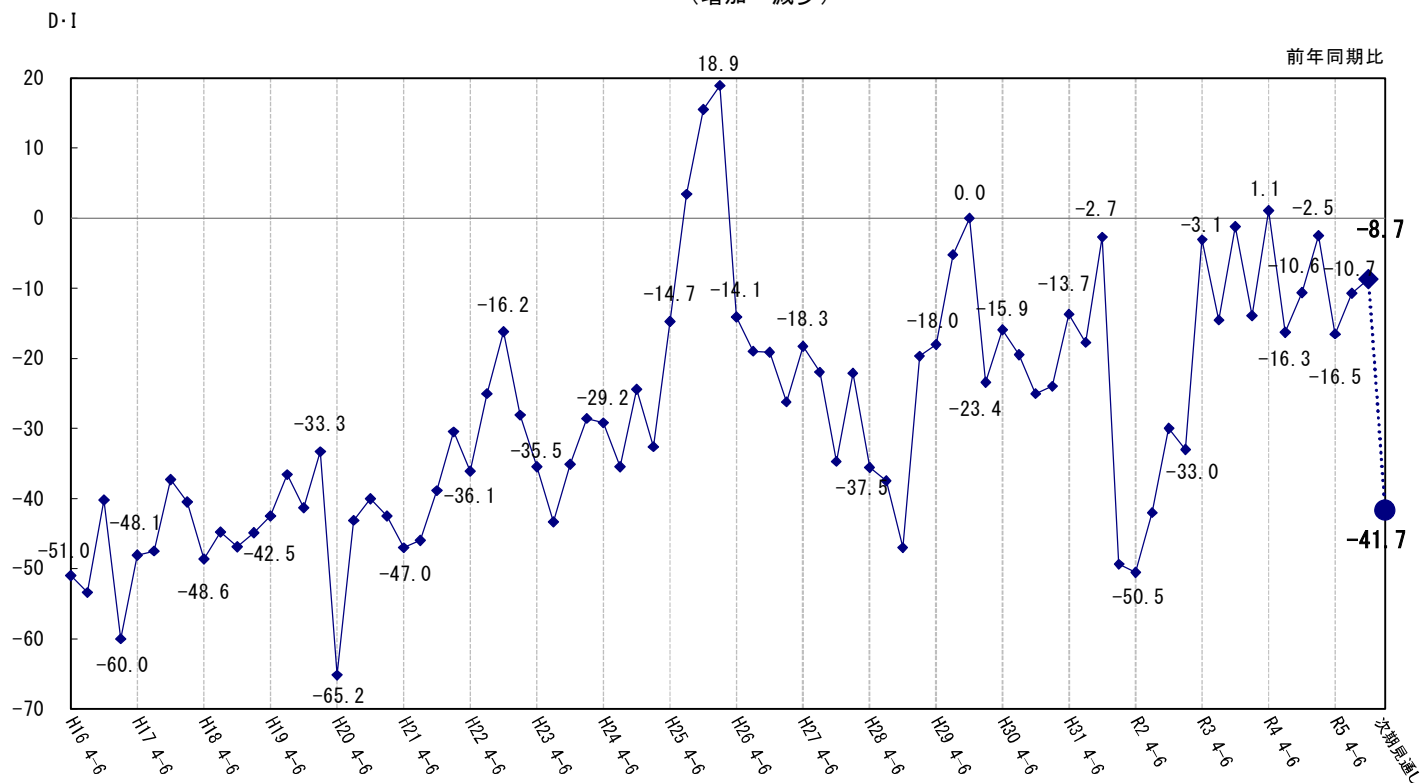
2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高

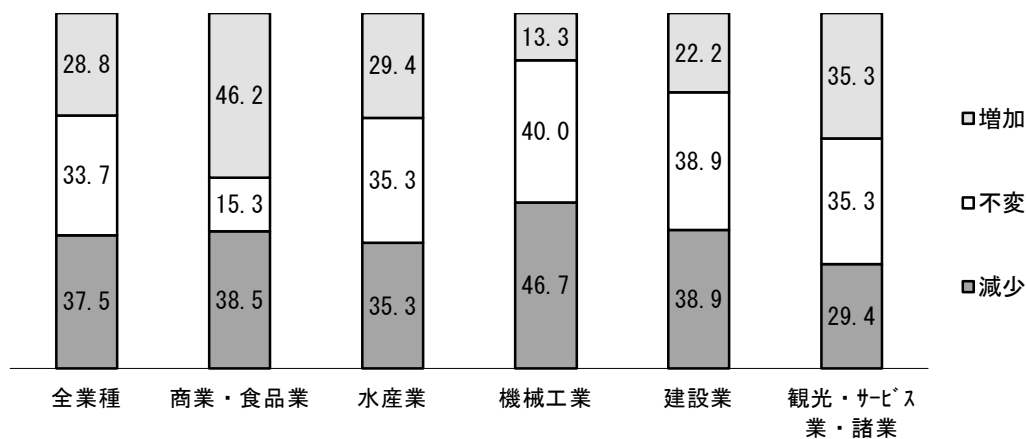
【前年同期比】(2022(令和4)年10月～12月期の水準と比較した今期の売上高)

売上高・生産高推移(全業種平均D・I)

(増加－減少)



今期の売上高・生産高(前年同期比)



全業種平均でDI値▲8.7〔前年調査時(令和4年10～12月期 ▲10.6)より1.9ポイント回復〕
商業食品業が好転、その他の業種が全て悪化。

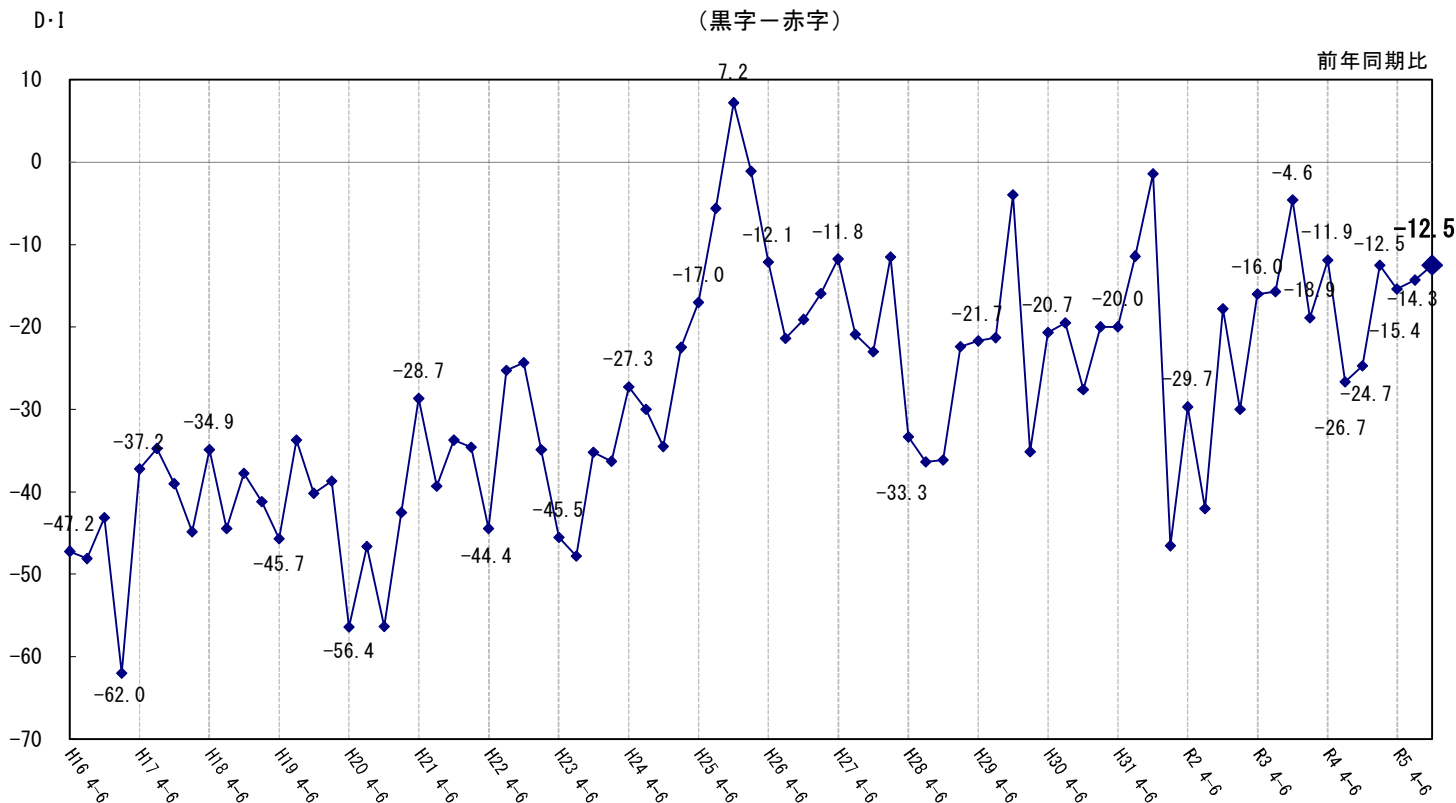
〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲26.6→7.7〕、水産業〔前年15.4→▲5.9〕
機械工業〔前年▲26.7→▲33.4〕、建設業〔前年18.2→▲16.7〕
観光・サービス業・諸業〔前年▲35.0→5.9〕

(2) 今期の採算

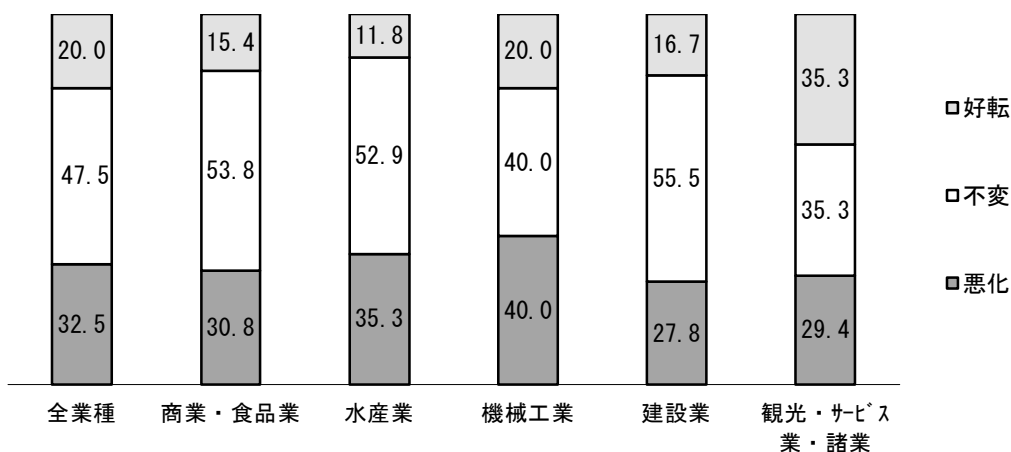
【前年同期比】(2022(令和4)年10月～12月期の水準と比較した今期の採算水準)

採算推移(全業種平均D・I)

(黒字＝赤字)



今期の採算(前年同期比)



全業種平均でDI値▲12.5〔前年調査時(令和4年10～12月期▲24.7)より12.2ポイント回復〕商業・食品業、観光サービス業・諸業が大幅に回復。

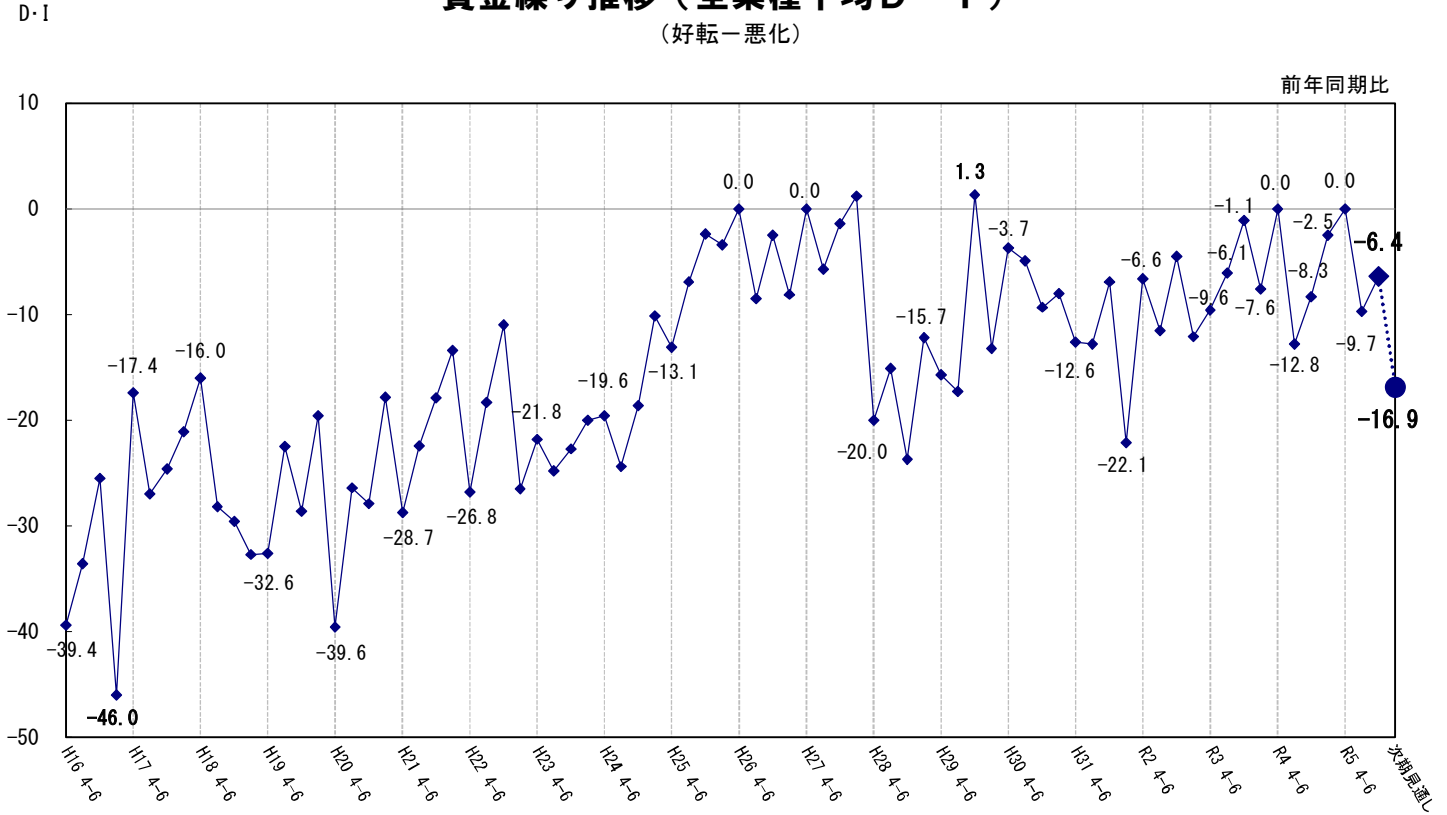
〔部会別DI値〕
 商業・食品業〔前年▲53.3→▲15.4〕、水産業〔前年▲23.1→▲23.5〕
 機械工業〔前年▲26.7→▲20.0〕、建設業〔前年▲9.1→▲11.1〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲20.0→5.9〕

(3) 今期の資金繰り

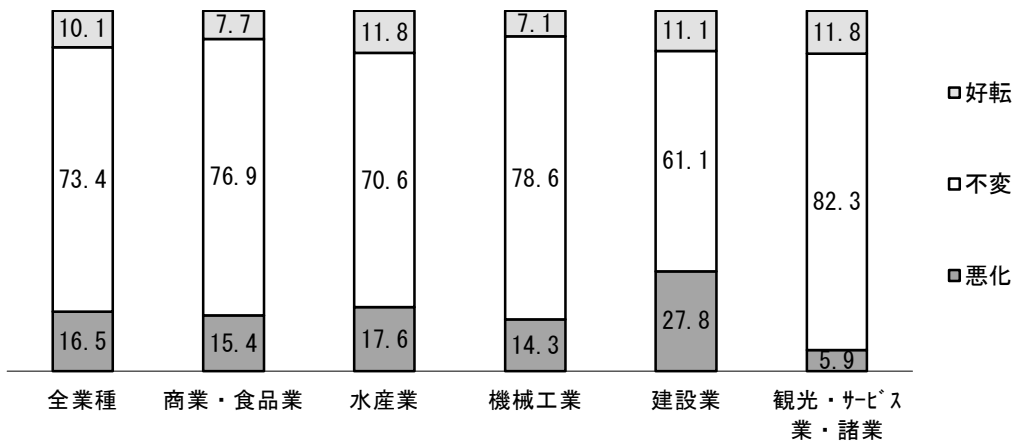
【前年同期比】(2022(令和4)年10月~12月期の水準と比較した今期の資金繰り)

資金繰り推移(全業種平均D・I)

(好転-悪化)



今期の資金繰り(前年同期比)



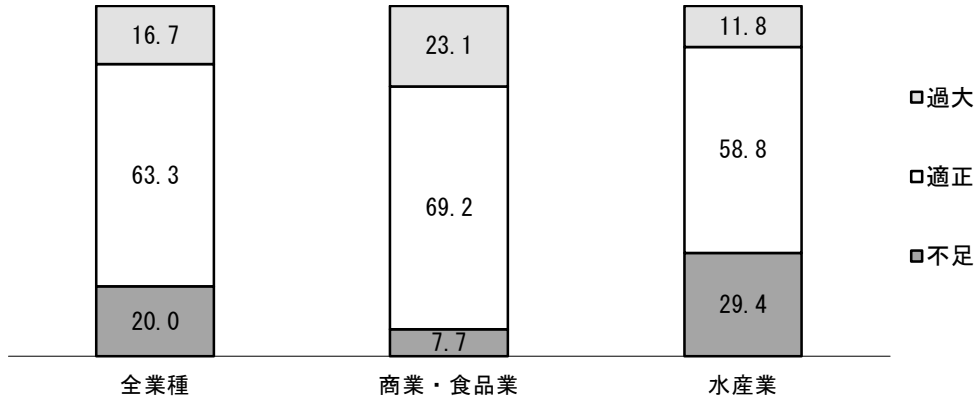
全業種平均でDI値▲6.4〔前年調査時(令和4年10~12月期▲8.3)より1.9ポイント回復〕
水産業、観光・サービス業・諸業で悪化。その他の業種は回復。

〔部会別DI値〕
 商業・食品業〔前年▲40.0→▲7.7〕、水産業〔前年0.0→▲5.8〕
 機械工業〔前年▲6.7→▲7.2〕、建設業〔前年18.2→▲16.7〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲20.0→5.9〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（2022（令和4）年10月～12月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



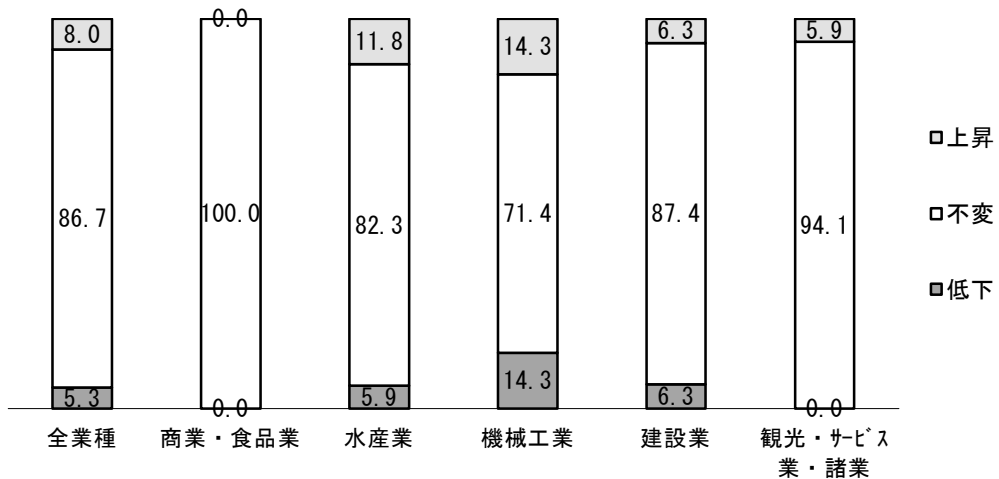
全業種平均でDI値▲3.3〔前年調査時（令和4年10～12月期▲3.5）より0.2ポイント不足傾向〕

〔部会別DI値〕 商業・食品業〔前年▲20.0→15.4〕、水産業〔前年15.4→▲17.6〕

(5) 今期の借入金の金利水準

【前年同期比】（2022（令和4）年10月～12月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）

今期の借入金の金利水準

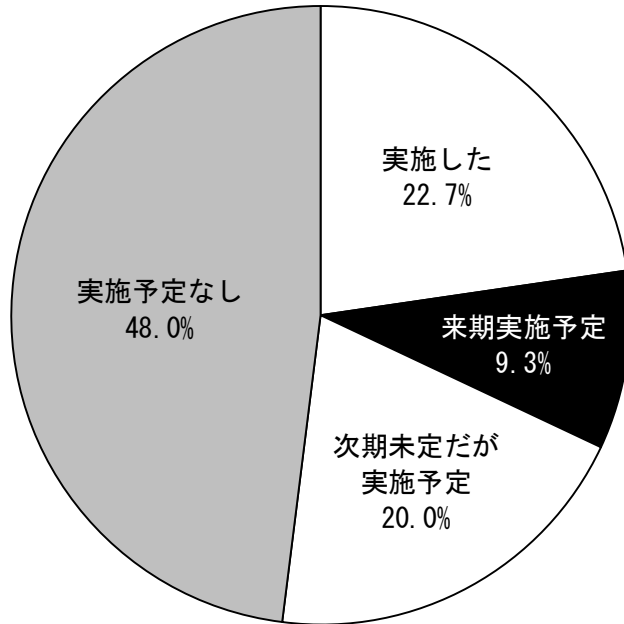


全業種平均で▲2.7。商業食品業0.0、水産業5.9、機械工業0.0、建設業0.0、観光・サービス業・諸業5.9。

(6) 設備投資の実施状況

今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について

設備投資の実施状況

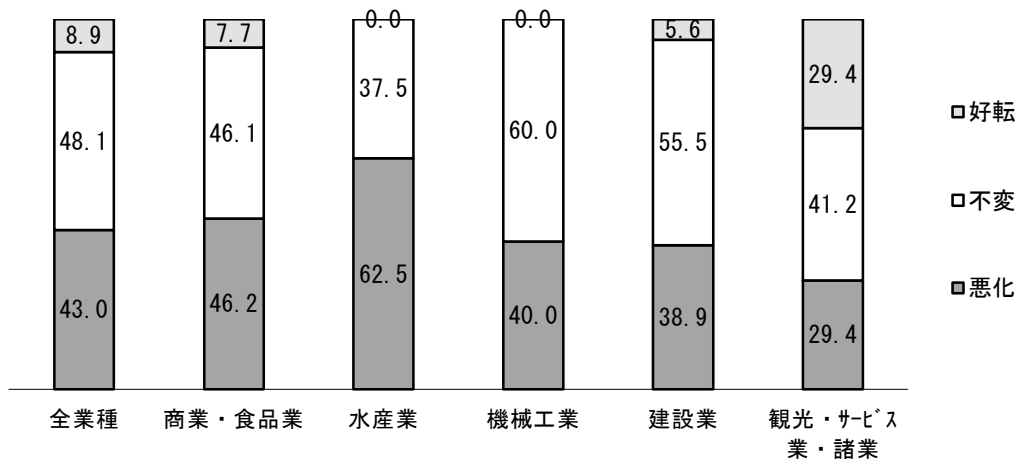


3. 来期の見通し

(1) 来期の業況

【今期比】(2023(令和5)年10月～12月期の水準と比較した来期の業況見通し)

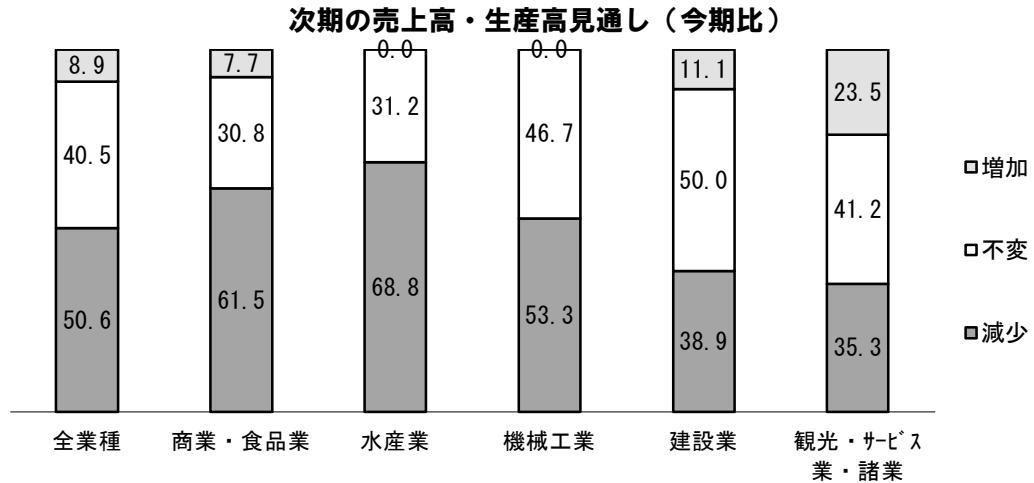
次期の業況見通し(今期比)



全業種平均DI値▲34.1〔今期の業況(前年同期比▲12.5)より21.6ポイント悪化の見通し〕

(2) 来期の売上高・生産高

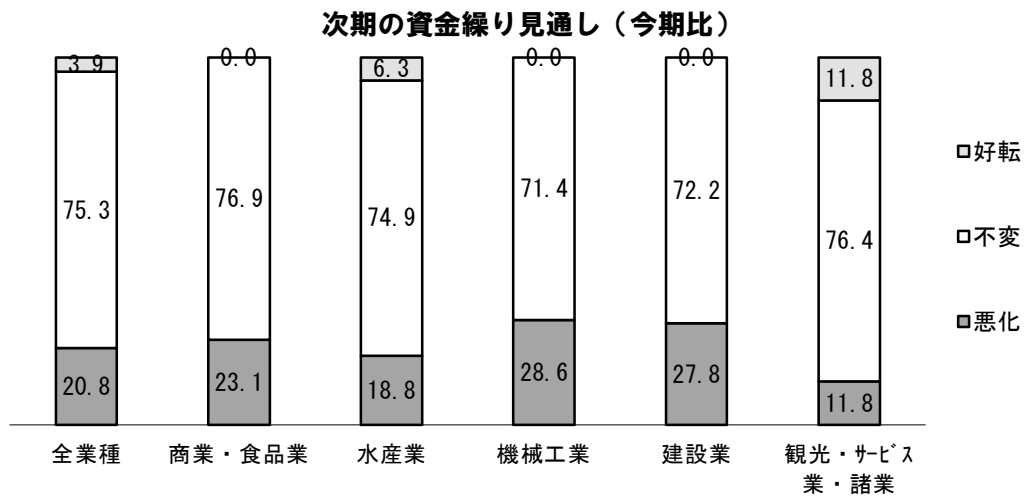
【今期比】（2023（令和5）年10月～12月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値 ▲41.7 [今期の売上高・生産高（前年同期比▲8.7）より 33.0 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（2023（令和5）年10月～12月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲16.9 [今期の資金繰り（前年同期比▲6.4）より 10.5 ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 ・ ツー リ ン グ 業 ・ 諸 業
業 況 判 断 D・I	今 期 実 績	▲ 1 2 . 5	▲ 7 . 7	▲ 1 7 . 7	▲ 3 3 . 3	▲ 5 . 6	0 . 0
	来 期 見 通 し	▲ 3 4 . 1	▲ 3 8 . 5	▲ 6 2 . 5	▲ 4 0 . 0	▲ 3 3 . 3	0 . 0
売 上 ・ 生 産 D・I	今 期 実 績	▲ 8 . 7	7 . 7	▲ 5 . 9	▲ 3 3 . 4	▲ 1 6 . 7	5 . 9
	来 期 見 通 し	▲ 4 1 . 7	▲ 5 3 . 8	▲ 6 8 . 8	▲ 5 3 . 3	▲ 2 7 . 8	▲ 1 1 . 8
在 庫 D・I	今 期 実 績	▲ 3 . 3	1 5 . 4	▲ 1 7 . 6	—	—	—
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
採 算 D・I	今 期 実 績	▲ 1 2 . 5	▲ 1 5 . 4	▲ 2 3 . 5	▲ 2 0 . 0	▲ 1 1 . 1	5 . 9
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—
資 金 繰 り D・I	今 期 実 績	▲ 6 . 4	▲ 7 . 7	▲ 5 . 8	▲ 7 . 2	▲ 1 6 . 7	5 . 9
	来 期 見 通 し	▲ 1 6 . 9	▲ 2 3 . 1	▲ 1 2 . 5	▲ 2 8 . 6	▲ 2 7 . 8	0 . 0
借 入 金 金 利 水 準 D・I	今 期 実 績	2 . 7	0 . 0	5 . 9	0 . 0	0 . 0	5 . 9
	来 期 見 通 し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。